



## 巻 頭 言 Foreword

代表取締役社長 金 成 増 彦

President Masuhiko Kanari

昨年一か年はわが国経済にとって戦後最も厳しい試練の年であり、当社もまたその埒外にとどまることはできませんでしたが、その間われわれは着々と今後の発展のための基礎づくりに努めてまいりました。

すなわち、千葉工場は大形変圧器専門工場としていよいよ完全操業に入り、川崎工場とともに、重電部門の総合受注体制を確立しました。

また計測オートメーション工場としての豊田工場は富士通、神戸工業、富士電機工事との密接な関係を保ちつつ、プラント受注を目指して体制を整えつつあり、また工業計器の単体の量産化により、従来よりさらに広い分野の需要家のご要望にこたえつつあります。

一方、当社は数年来、家庭電器部門に進出しておりますが、近時ますますこの方面の需要が増大しつつあり、昨年度においては当社総売上の30%を占めるまでに至っております。

その他、汎用電機部門の拡充や輸出増強にも絶えざる努力を続けており、総合電機メーカーとしての実を挙げつつあります。

われわれの念願は“良い製品を安くつくる”ことであります。

良質の特徴ある製品をつくり出すために、積極的な技術開発を推進しておりますが、同時に製品の標準化、生産体制の簡素化によるコストの引下げによって、安いものを需要家に提供することを重要な課題と心得ております。つまりは、需要家の方々の要求をよく聞いて、満足していただける良い安い製品をつくることであります。

そのためには社内体制の強化が必要であり、社内組織の整備にも意を注ぎ、昨秋は国府津に中央研修所を完成して徹底的な幹部教育を始めております。

以上のように、われわれは需要家の方々をはじめ、関係者各位のご要望にこたえるべく、日夜努力を重ねておりますので、今後とも格別のご支援をお願い申し上げます。



\*本誌に記載されている会社名および製品名は、それぞれの会社が所有する  
商標または登録商標である場合があります。